

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果報告【小学校】

1 調査日

令和6年4月18日（木）

2 調査集計対象

小学校第6学年児童 全国 960,389名（うち江戸川区 5,239名）

3 区内実施校数

全小学校 66校

4 調査目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

5 調査内容

① 教科に関する調査

○ 国語・算数

② 生活習慣や学習環境に関する調査

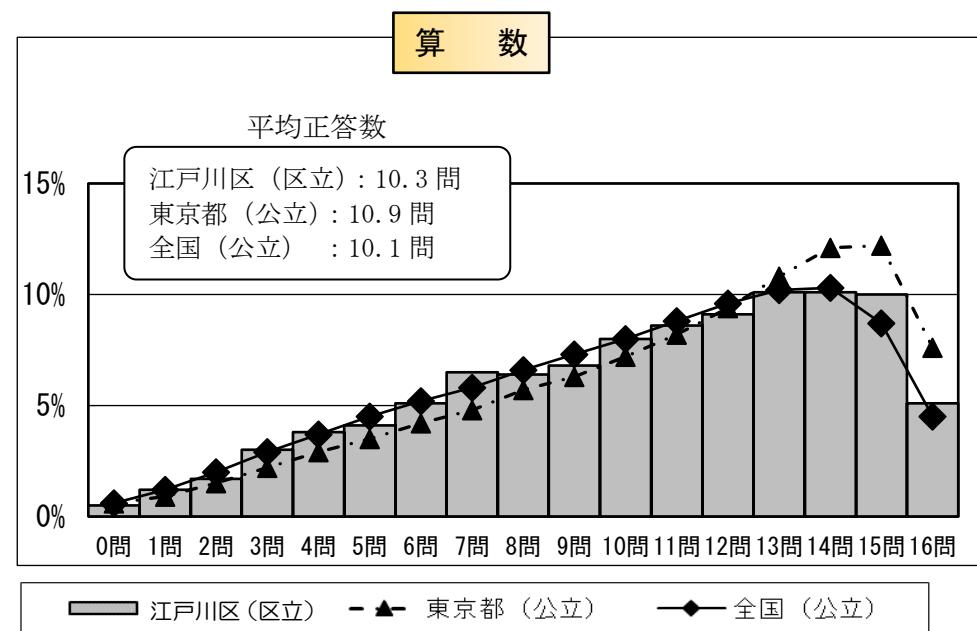
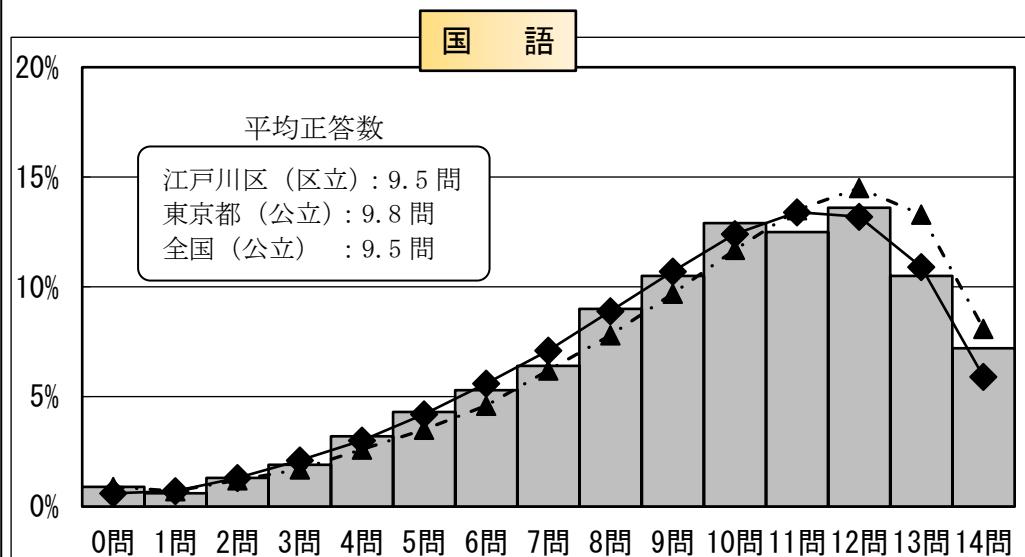
○ 児童質問紙調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）

○ 学校質問紙調査（指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況に関する調査）

江戸川区教育委員会教育指導課

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果報告【小学校】

正答数分布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

国語	上位 ← → 下位			
	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
江戸川区（区立）	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都（公立）	35.9	25.2	17.5	21.4
全国（公立）	30.0	25.8	19.6	24.6

%

算数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16問	B層 12~13問	C層 8~11問	D層 0~7問
江戸川区（区立）	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都（公立）	31.9	20.2	27.4	20.5
全国（公立）	23.5	19.8	30.7	26.0

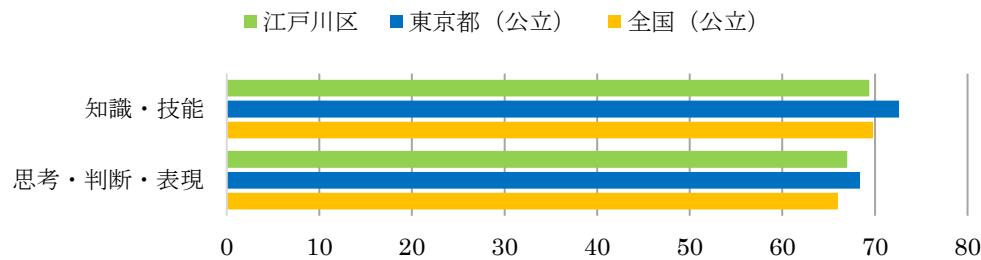
%

令和6年度「領域別」の結果と課題【小学校】

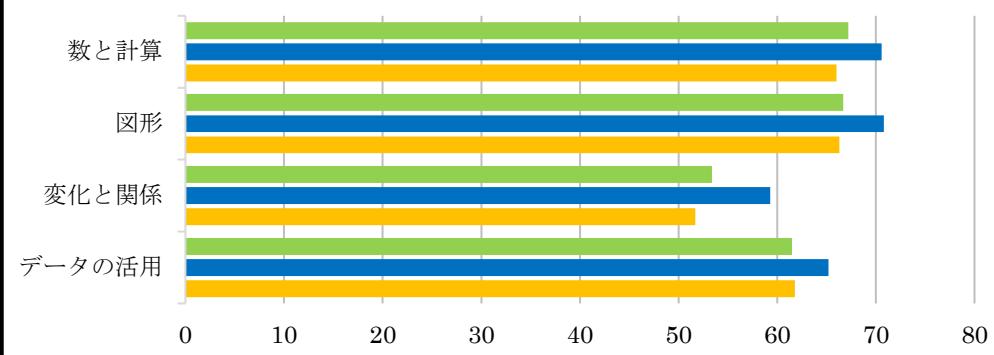
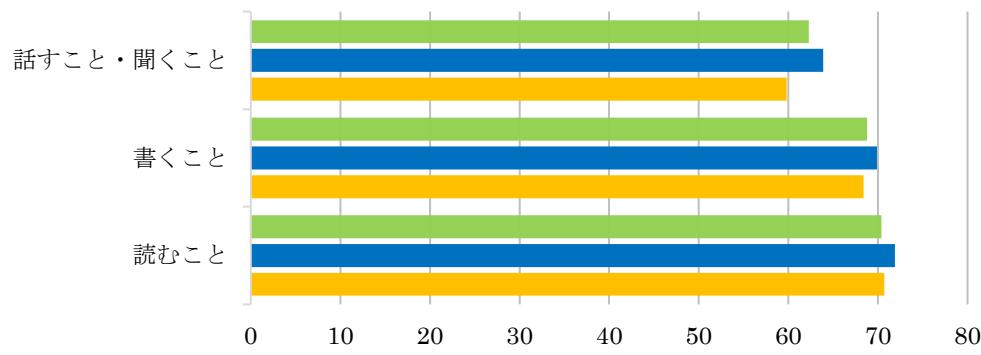
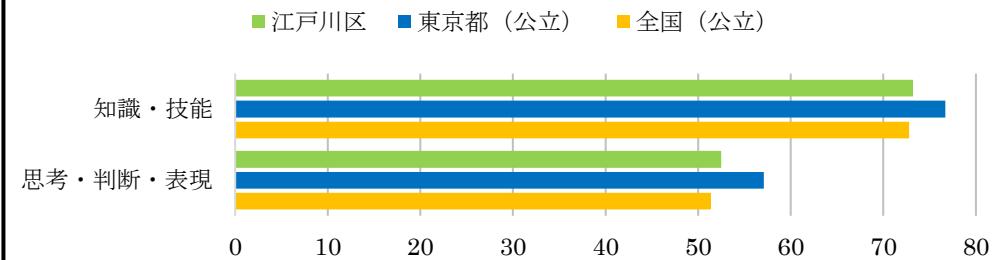
「領域別」の結果

以下、平均正答率(%)を示す。

国語



算数



【平均正答率の差】

	国語	算数
江戸川区（区立）	68%	64%
東京都（公立）	70%	68%
全国（公立）	67.7%	63.4%
都との差	-2ポイント	-4ポイント

【全国平均、東京都平均との関係】

<全国との関係>

- 全国平均正答率について、国語は0.3ポイント、算数は0.6ポイント上回る。
- 「知識・技能」において、国語の正答率は全国平均正答率を0.4ポイント下回り、算数の正答率は全国平均正答率を0.4ポイント上回る。「思考・判断・表現」において、国語の正答率は、全国平均正答率を1.0ポイント上回り、算数の正答率は、全国平均正答率を1.1ポイント上回る。

<東京都との関係>

- 国語、算数とともに、全ての領域において都平均正答率を下回る。
- 「知識・技能」において、国語は3.2ポイント、算数は3.5ポイント、都平均正答率を下回る。
- 算数において、「変化と関係」の正答率が5.9ポイントと都平均正答率を大きく下回る。

令和6年度「設問別」の結果と課題【小学校】

国語

平均正答率が全国より高い問題

4 表現の効果
3 物語の構成
2 作者が伝えていること
1 登場人物の気持ちや考え方

【出題の趣旨】3二(2)
人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる。

【正答率】

江戸川区	73.6%
東京都	73.6%
全国	72.5%

【本区のこれからの取組】

登場人物の人物像を具体的に想像するためには、登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方などを総合して判断することが重要である。

今後も引き続き、「読解力の育成」を図るために、年間1000分間の朝読書を充実させていく。

平均正答率が全国より低く、無解答が多い問題

3 原さんの学級では、物語を読み、心に残ったところについて説明することにしました。原さんは、「オニグモじいさんの朝ごはん」という題名の物語を選んで読んでいます。次は、原さんが読んだ【物語】です。これをよく読んで、あとどの問い合わせに答えましょう。

二 原さんは、【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめるために、同じ物語を読んだ島さんと話し合うことにしました。次は、【話し合いの様子】です。これをよく読んで、あとどの(1)と(2)の問い合わせに答えましょう。

(2) 【話し合いの様子】で、原さんは【物語】を読んで考えたことを話しています。原さんは、物語を何に着目して話していますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までのなかから一つ選んで、その番号を書きましょう。

【出題の趣旨】3三
人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる。

【正答率】 【無解答率】

江戸川区	69.5%	15.0%
東京都	71.0%	15.7%
全国	72.6%	12.6%

【本区のこれからの課題】

物語を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く問題に対し、自分の考えを文章で表現することに対し、抵抗を感じている児童が多いと考えられる。各教科等で自分の考えを表現する機会を設定し、適切に表現できるように繰り返し指導していく。

3 原さんは、島さんと話し合ったあと、【物語】を読んで、心に残ったところについて説明することにしました。原さんは、「オニグモじいさんの朝ごはん」という題名の物語を選んで読んでいます。次は、原さんが読んだ【物語】です。これをよく読んで、あとどの問い合わせに答えましょう。

○ ○ 心に残ったところと、心に残った理由を書くこと。
○ ○ 【物語】から言葉や文を取り上げて書くこと。
○ 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

〈条件〉

三 原さんは、島さんと話し合ったあと、【物語】を読んで、心に残ったところについて説明することにしました。原さんは、「オニグモじいさんの朝ごはん」という題名の物語を選んで読んでいます。次は、原さんが読んだ【物語】です。これをよく読んで、あとどの問い合わせに答えましょう。

令和6年度「設問別」の結果と課題【小学校】

算数

平均正答率が全国より高い問題

- (2) たくみさんは、はじめに折り紙を何枚か持っていました。
ゆうさんから 38 枚もらって、全部で 62 枚になりました。
このことを、たくみさんがはじめに持っていた折り紙の枚数を□枚として式に表します。
下の ア から エ までの中から、正しい式を 1 つ選んで、その記号を書きましょう。

ア $62 + 38 = \square$

イ $\square + 38 = 62$

ウ $\square - 62 = 38$

エ $\square - 38 = 62$

【出題の趣旨】

1 (2) 数量の関係を、□を用いた式に表すことができるかどうかを見る。

【正答率】 4 (1) 江戸川区 92.3% 東京都 91.9% 全国 88.5%

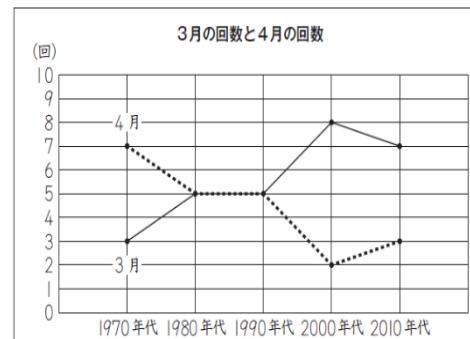
【本区のこれからの取組】

数量の関係を、□を用いた式に表すことができる児童が全国・都の平均と比べて多い。92.3%の児童が正答していることから、問題を解決するために、未知の数量を□などの記号を用いて、問題場面どおりに数量の関係を式に表すことができていることが分かる。引き続き、問題で分かっていることから図に表し、数や図をかき加えていく活動を取り入れ、知識及び技能の習得に取り組んでいく。

平均正答率が全国と同等であるが、無解答が多い問題

- (3) こうたさんは、1970 年代から 2010 年代について、C 市の桜の開花日の月を調べました。すると、1970 年代以降は、開花日の月が 3 月と 4 月のどちらかであることがわかりました。

そこで、開花日の月について、各年代の 3 月の回数と 4 月の回数を、下のように折れ線グラフに表しました。



こうたさんたちは、左の折れ線グラフをもとに、気づいたことについて話し合っています。



1970 年代は、3 月の回数より 4 月の回数のほうが 4 回多いですね。



3 月の回数と 4 月の回数が同じ年代がありますね。



3 月の回数と 4 月の回数のちがいが大きい年代がありますね。

左の折れ線グラフで、3 月の回数と 4 月の回数のちがいが最も大きい年代はいつですか。また、その年代について、3 月の回数と 4 月の回数のちがいは何回ですか。

ちがいが最も大きい年代と、その年代について、3 月の回数と 4 月の回数が何回ちがうかを、言葉と数を使って書きましょう。

【出題の趣旨】

5 (3) 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまる条件を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。

【正答率】

江戸川区 44.0%

東京都 48.0%

全国 44.0%

【無解答率】

12.3%

13.5%

12.6%

【本区のこれからの課題】

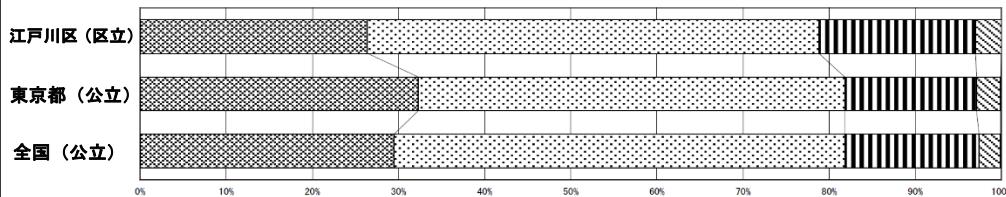
目的に応じて表やグラフに表し、データの特徴や傾向を捉え、判断や考察ができるようにすることが必要である。算数だけでなく、社会や理科等の各教科で表やグラフの読み取り方について、繰り返し指導していくことで、グラフを読み取り、見いだしたことを表現できる力を着実に定着させていく。

令和6年度 児童質問紙調査【小学校】

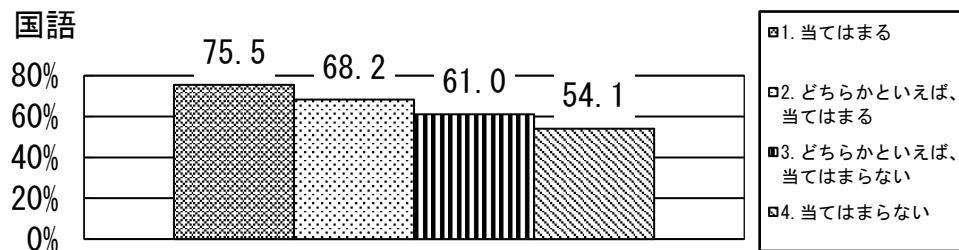
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

30 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない
- 無回答



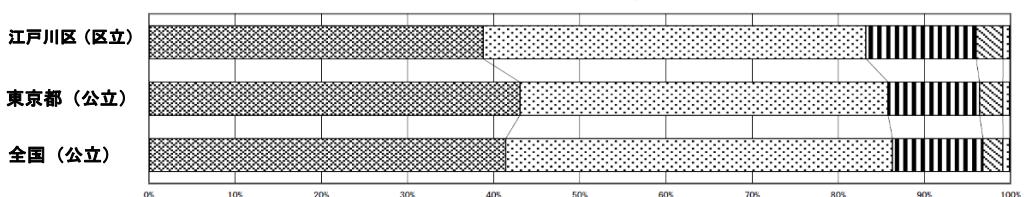
授業への主体的な取組と学力のクロス集計



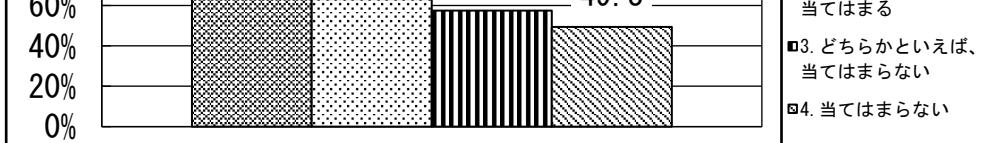
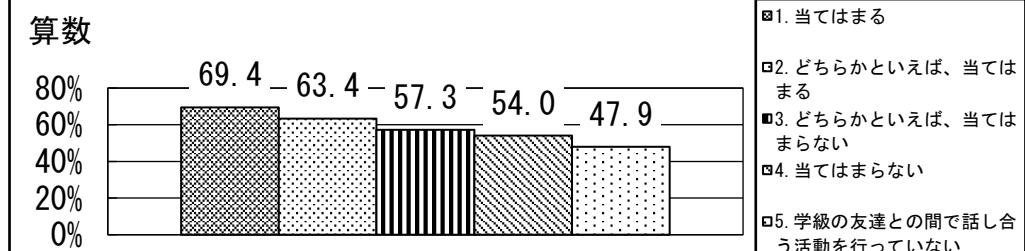
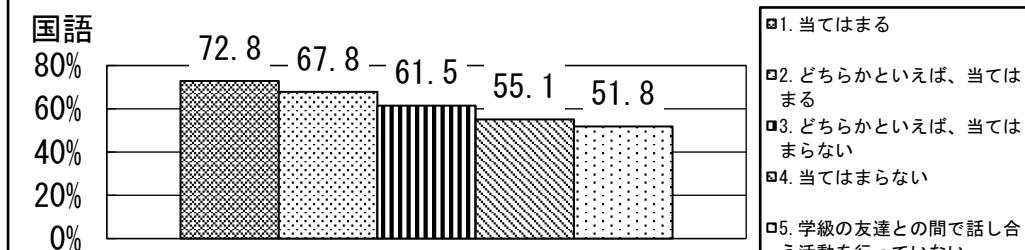
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

33 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか

- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない
- 5. 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない



授業への対話的な取組と学力のクロス集計



「当てはまる」と肯定的に回答した児童の割合が、全国及び都を下回っている。課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいると回答した児童の方が、そうでない児童よりも平均正答率が高い傾向にある。国語・算数で比較すると、算数が顕著である。

児童が課題に対して主体的に取り組むことができるよう、授業の導入や教材の内容、課題提示等の工夫をし、自主的・自発的に学習に取り組む態度を養う必要がある。

「当てはまる」と肯定的に回答した児童の割合が、全国及び都を下回っている。話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりした児童の方が、そうでない児童よりも平均正答率が高い傾向にある。

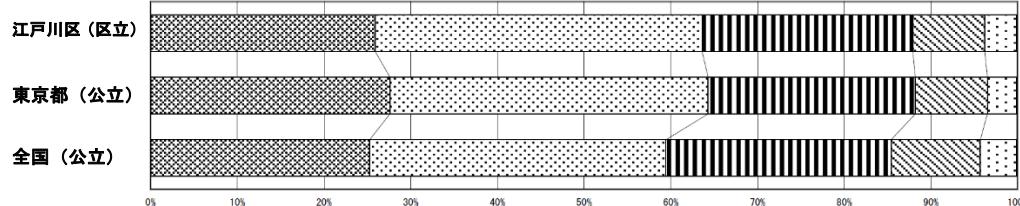
個人で考えたことを、意見交換したり議論したりすることで、新たな考え方方に気付いたり自分の考えをより妥当なものとしたりする機会を意図的に設定し、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」を実現していく必要がある。

令和6年度 児童質問紙調査【小学校】

ICTを活用した学習状況

27 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

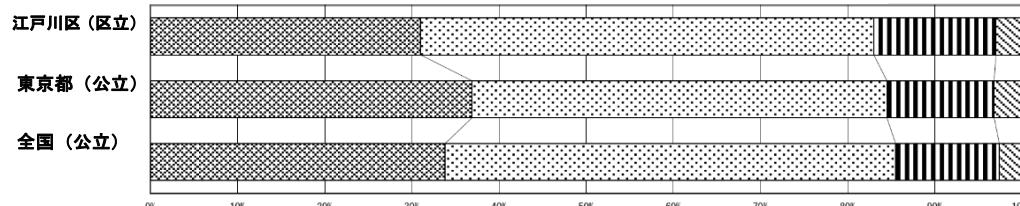
- 1. ほぼ毎日 □2. 週3回以上 □3. 週1回以上 □4. 月1回以上 □5. 月1回未満 □無回答



28-1 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。

(1) 自分のペースで理解しながら学習を進めることができる

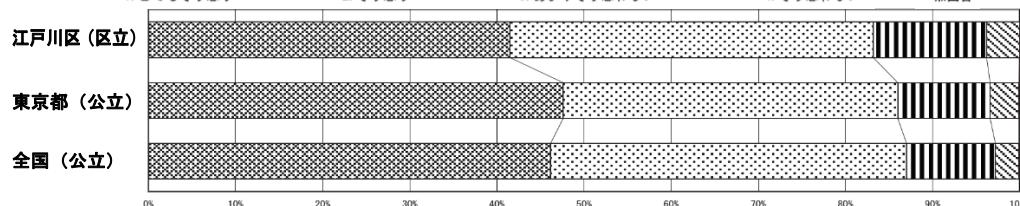
- 1. とてもそう思う □2. そう思う □3. あまりそう思わない □4. そう思わない □無回答



28-7 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。

(7) 友達と協力しながら学習を進めることができる

- 1. とてもそう思う □2. そう思う □3. あまりそう思わない □4. そう思わない □無回答



授業内における、PC・タブレットなどのICT機器の活用について、「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した児童の割合が全国を上回っている。しかし、ICT機器の活用について、自分のペースで学習すること、友達と協力して学習することについては、「とてもそう思う」と回答した児童の割合が、全国及び都を下回っている。

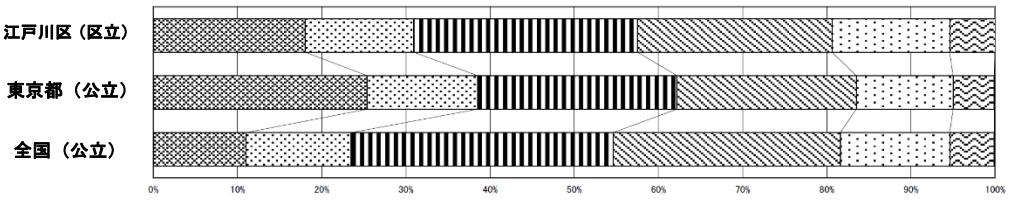
ICTの活用が浸透してきている状況の中で、さらに「個別最適な学び」「協働的な学び」を実現していくための効果的な活用について、授業改善を図っていく必要がある。

学習習慣・学習環境等

21 学校の授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネット学習を含む）

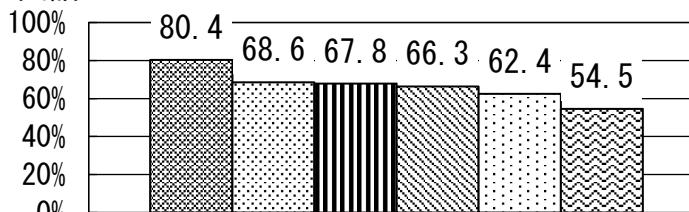
- 1. 3時間以上 □2. 2時間以上、3時間より少ない □3. 1時間以上、2時間より少ない □4. 30分以上、1時間より少ない

- 5. 30分より少ない □6. 全くしない □無回答



学習習慣と学力のクロス集計

国語



- 1. 3時間以上

- 2. 2時間以上、3時間より少ない

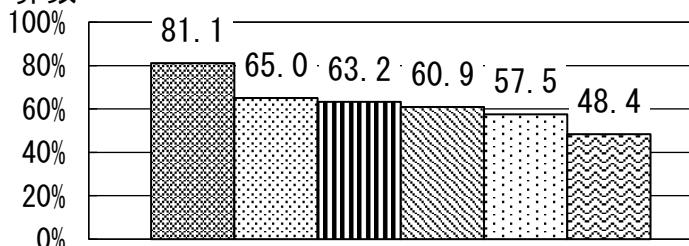
- 3. 1時間以上、2時間より少ない

- 4. 30分以上、1時間より少ない

- 5. 30分より少ない

- 6. 全くしない

算数



- 1. 3時間以上

- 2. 2時間以上、3時間より少ない

- 3. 1時間以上、2時間より少ない

- 4. 30分以上、1時間より少ない

- 5. 30分より少ない

- 6. 全くしない

学校の授業時間以外の勉強時間が「1時間以上」と回答した児童の割合が、全国よりも上回っているが、都よりは下回っている。「30分未満」と回答した児童の割合は、全国及び都を上回っている。また、学校の授業時間以外の勉強時間が多くの児童の方が、そうでない児童よりも平均正答率が高い傾向にある。

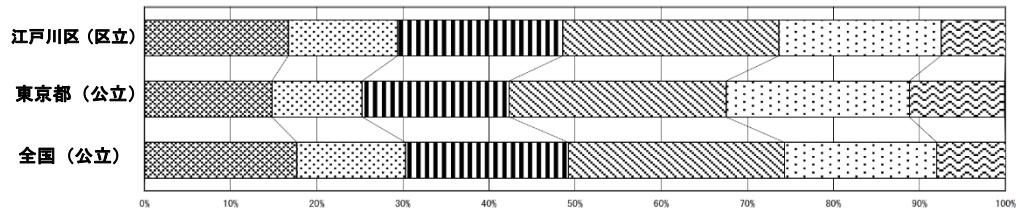
児童の学習習慣を確立し、学力を向上させるため、宿題の提示について工夫したり、ICT機器を活用したりし、家庭学習の充実を図っていく。

令和6年度 児童質問紙調査【小学校】

基本的生活習慣

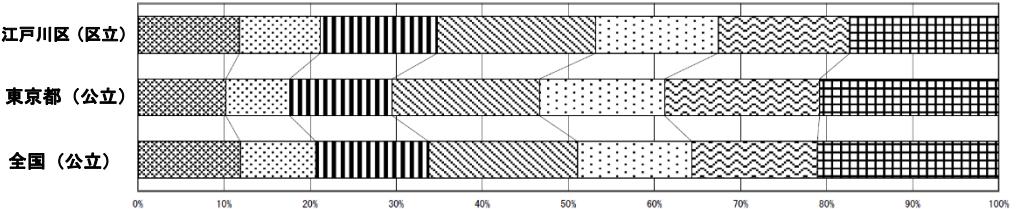
5 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

1. 4時間以上 2. 3時間以上、4時間より少ない 3. 2時間以上、3時間より少ない
4. 1時間以上、2時間より少ない 5. 1時間より少ない 6. 全くしない 無回答

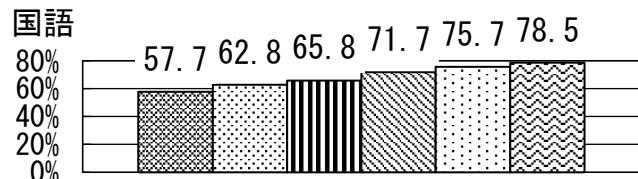


6 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）

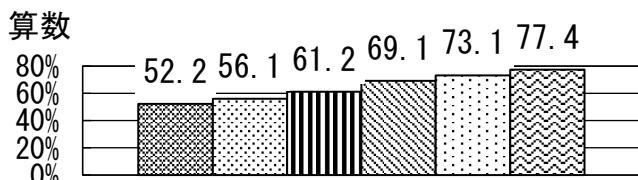
1. 4時間以上 2. 3時間以上、4時間より少ない
3. 2時間以上、3時間より少ない
4. 1時間以上、2時間より少ない 5. 30分以上、1時間より少ない
6. 30分より少ない
7. 携帯電話やスマートフォンを持っていない 無回答



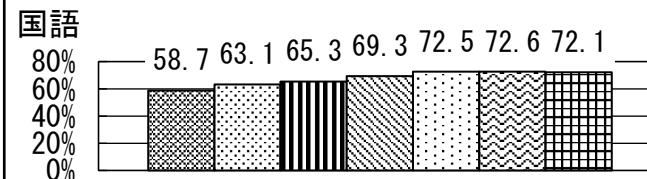
基本的生活習慣と学力のクロス集計



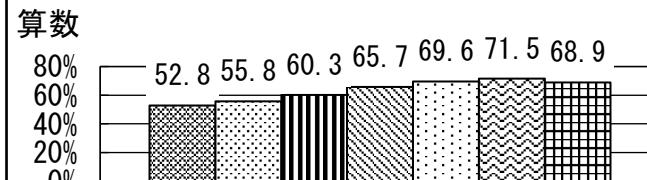
1. 4時間以上
2. 3時間以上、4時間より少ない
3. 2時間以上、3時間より少ない
4. 1時間以上、2時間より少ない
5. 1時間より少ない
6. 全くしない



1. 4時間以上
2. 3時間以上、4時間より少ない
3. 2時間以上、3時間より少ない
4. 1時間以上、2時間より少ない
5. 1時間より少ない
6. 全くしない



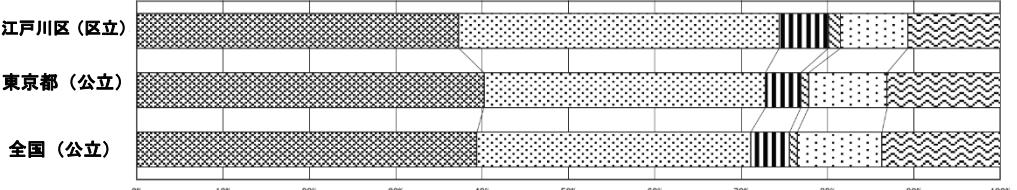
1. 4時間以上
2. 3時間以上、4時間より少ない
3. 2時間以上、3時間より少ない
4. 1時間以上、2時間より少ない
5. 30分以上、1時間より少ない
6. 30分より少ない
7. 携帯電話やスマートフォンを持っていない



1. 4時間以上
2. 3時間以上、4時間より少ない
3. 2時間以上、3時間より少ない
4. 1時間以上、2時間より少ない
5. 30分以上、1時間より少ない
6. 30分より少ない
7. 携帯電話やスマートフォンを持っていない

7 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家人と約束したことを守っていますか

1. きちんと守っている
2. だいたい守っている
3. あまり守っていない
4. 守っていない
5. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない
無回答
6. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っていない



テレビゲームをする時間が全くない、携帯電話・スマートフォンを持っていないと回答した児童の割合が全国及び都を下回っている。しかし、テレビゲームや携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴に費やす時間が1時間以上と回答した児童の割合は、都の平均を上回り、SNSや動画視聴については全国も上回っている。また、テレビゲームや携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴に費やす時間が少ない児童の方が、多い児童よりも平均正答率が高い傾向にある。SNS家庭ルールを適宜見直し、生活習慣を整え、家庭学習の時間を確実に確保することで学力の向上に努めていく必要がある。

令和6年度 学力向上に関する主な取組【小学校】

○「誰一人取り残さない学力向上アクションプラン」の策定

- ・「江戸川区立学校における学力向上に向けた取組の指針について」における論点を基に、学力向上に向けた具体的な取組を推進

○学力向上プロジェクト推進局の設置

- ・江戸川区立学校に在籍する小・中学生の学力向上に向けた諸事業を行うことを目的とし、学力向上プロジェクト推進局を設置
- ・推進局内に学力向上プロジェクトチームをおき、プロジェクトチームを小学校国語、小学校算数2つのチームで構成

○プロジェクトチームの取組

- ・「江戸川区算数授業スタンダード」及び「江戸川区国語授業スタンダード」を作成
- ・「江戸川区算数・国語授業スタンダード」に基づく公開授業の実施
- ・筑波大学附属小学校教諭による公開授業及び講演会の開催
- ・年3回、江戸川区学力定着度調査（算数）を実施し、学習カルテを作成
- ・読解力向上を目指し、よむYOMUワークシート（年間30回）を第4学年（後期のみ）、第5学年、第6学年で実施

○江戸川区学力調査の実施

- ・国語、算数、学習意識調査を第3～6学年で実施

○「放課後補習教室」の実施

- ・放課後補習教室事業の実施（令和4年度から全校で実施）
- ・年間約150日間実施

○東京方式 習熟度別指導ガイドラインに基づく効果的な「習熟度別指導」の推進

- ・算数の授業において、効果的な「習熟度別指導」を実施

○ICTを活用した協働学習の推進

- ・各教科等の授業で一人一台端末を活用し、授業改善を実施

○学校図書館の活用

- ・学校図書館の環境整備を進め、各教科等で学校図書館を活用
- ・学校図書館への区立図書館職員の全校巡回

○「読書科」の充実

- ・読書を通じた探究的な学習を通して、生涯にわたって主体的に学び続けていくための資質・能力を育成（全校の各学年で年間35時間実施）

○ミライシード ドリルパークの活用

- ・「ミライシード ドリルパーク 江戸川っ子 study week!」の実施（各学期に1週間実施し、平均年間総学習回数が多い学校を表彰）